

18 木橋工

18-1 木製歩道橋

特徴

周囲の景観に馴染むことから、自然公園等に適用できる。

施工場所

小規模な河川、溪谷等と公差し、周辺環境等に調和する箇所に適する。
高欄は、景観上あるいは安全確保上、必要な箇所で設置する。

施工方法

あらかじめ工場で製作された部材を現地へ搬入し、組み立てる。



全景



近景

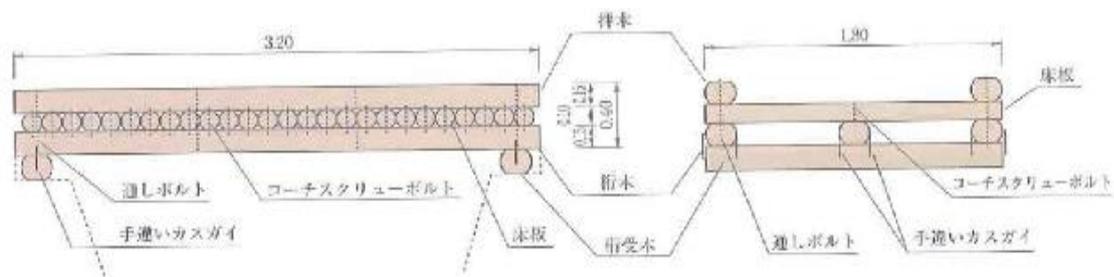
施工地：大阪府高槻市
 事業名：萩谷総合公園連絡道設置工事
 施工主体：高槻市

標準図

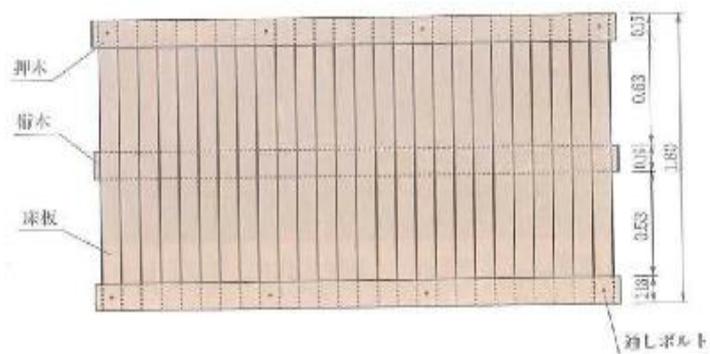
(単位：m)

正面図

断面図



平面図



材料・歩掛表

(1 m³当たり)

名 称	大 工	普通作業員	摘 要
木 製 歩 道 橋	4.18 人	2.35 人	

(1 基当たり)

名 称	規格・寸法	単 位	数 量	摘 要
桁	木 杉丸太 φ18cm L=3.2m	本	3.0	CCA 加工、150 タイコ
床	板 " φ12cm L=1.8m	"	26.0	CCA 加工、100 タイコ
押	木 " φ18cm L=3.2m	"	2.0	CCA 加工、150 タイコ
桁 受	木 " φ16cm L=1.8m	"	2.0	CCA 加工、150 タイコ
コーチスクリューボルト	φ9mm L=15cm	"	78.0	
通 し ボ ル ト	φ12mm L=40cm	"	9.0	
手 違 い カ ス ガ イ	φ13mm L=18cm	"	12.0	

18-2 木製橋梁工

特徴

単純桁による木製の歩道橋である。
桁部に集成材、高欄に桧材、その他は杉材を使用している。

施工場所

公園内、遊歩道等での施工に適する。

施工方法

あらかじめ工場で製作された部材を現地へ搬入し、組み立てる。



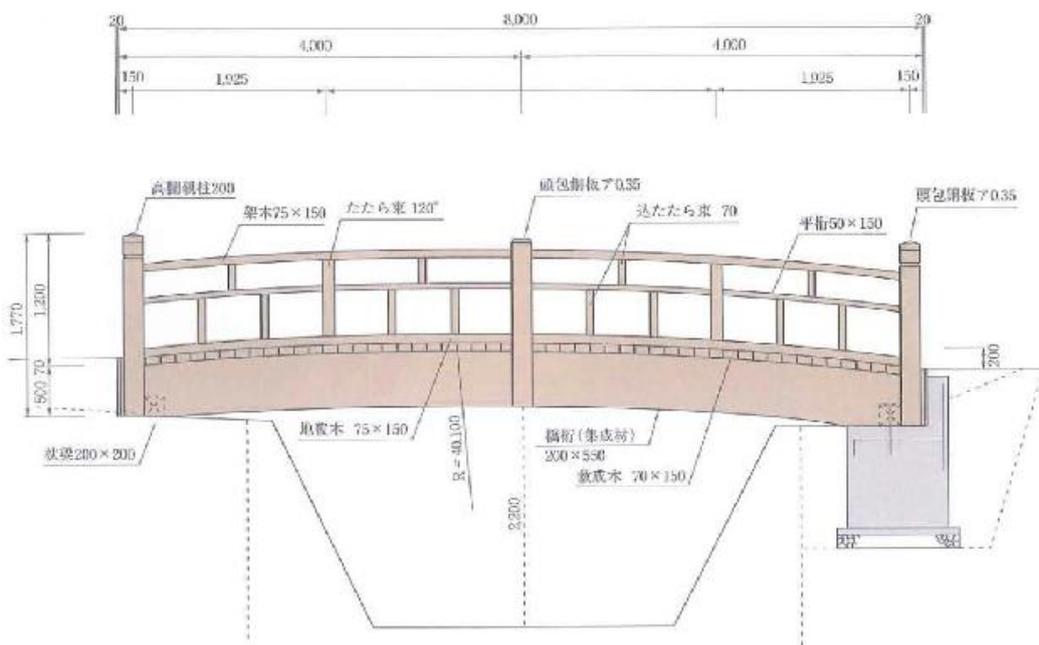
平成7年施工／L=8.0m W=2.0m 木材 6.18 m³使用



施工地：滋賀県愛知郡愛東町
 事業名：生活環境保全林整備事業
 施工主体：滋賀県

標準図

(単位：mm)



材料・歩掛表

名 称	形状・寸法	単 位	数 量	摘 要
橋 桁（集 成 材）	L=8,014 200×550	本	3	
枕 梁	L=1,700 200×200	〃	2	
継 梁	L=800 150×300	〃	6	
高 欄 親 柱	L=1,770 200×200	〃	4	
高 欄 中 柱	L=1,570 200×200	〃	2	
架 木	L=3,700 75×150	〃	4	
平 桁	L=1,810 50×100	〃	8	
地 覆 木	L=3,700 75×150	〃	2	
た た ら 束	L=900 120×120	〃	4	
込 た た ら 束	L=500 70×70	〃	16	
込 た た ら 束	L=450 70×70	〃	8	
手 摺 格 子	L=800 20×60	〃	96	
敷 成 木	L=2,400 70×150	〃	54	
諸 雑 費		式	1	
据 付		〃	1	

18-3 太鼓橋工

特徴

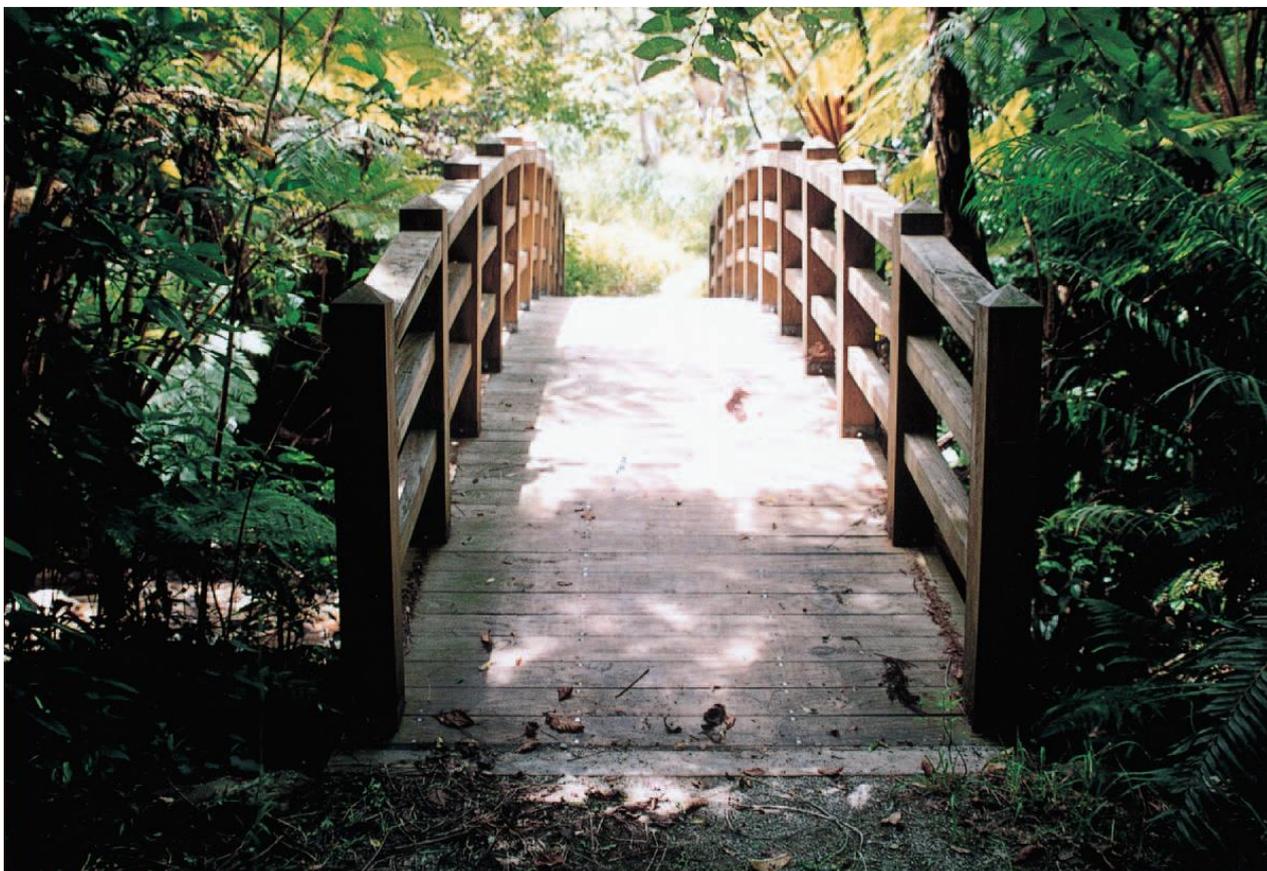
木材の心地よい歩行感と風合い、手触りの良さを生かした歩道橋である。

施工場所

生活環境保全林や公園等の一つのシンボリックな歩道橋に適する。

施工方法

あらかじめ工場で製作された部材を現地へ搬入し、組み立てる。



全景



全景

施工地：沖縄県名護市

事業名：生活環境保全保安林整備事業

施工主体：沖縄県

18-4 木製片栈道工

特徴

斜面を崩さない、自然に優しい栈道である。
現状の地形を利用できるため、周辺環境を損なわない。

施工場所

現地の斜面を切り盛りすることができない箇所に適する。

施工方法

現地の地形に応じて、脚柱の長さを調整する。
安全対策として、手摺りの設置が必要である。



平成8年施工 / L=10.0m W=1.5m 木材使用量 3.89 m³

施工地：滋賀県甲賀郡石部町

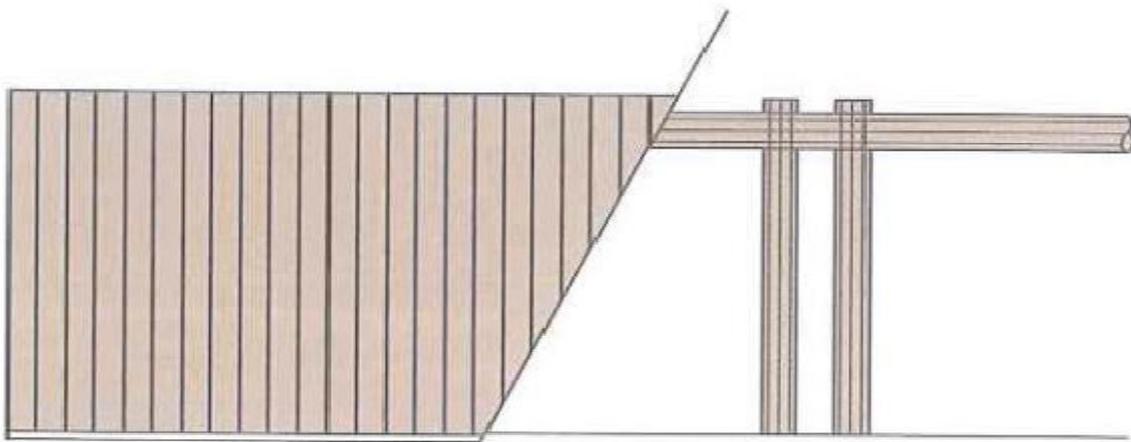
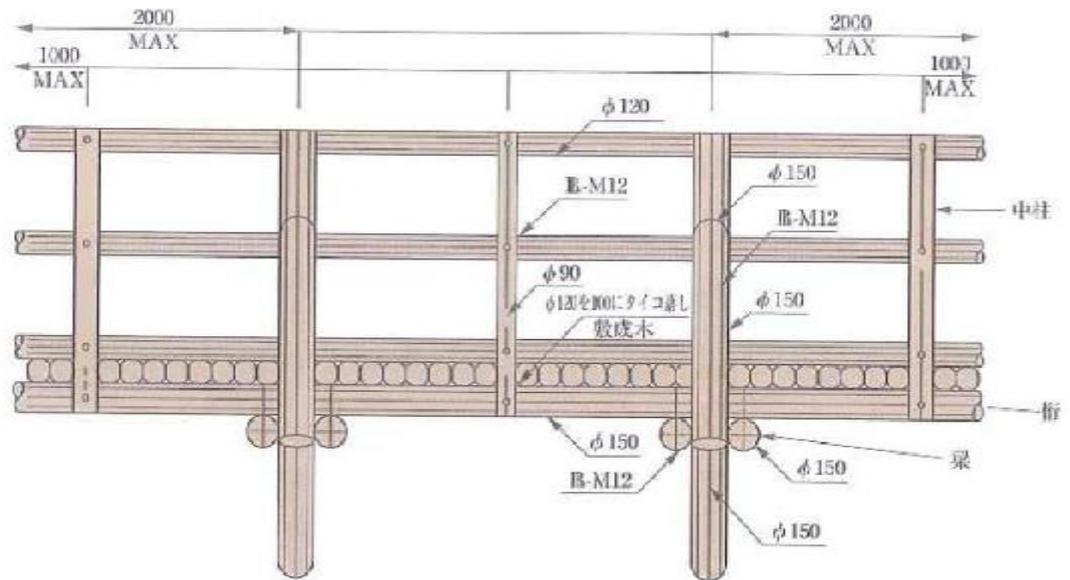
事業名：生活環境保全林整備事業

施工主体：滋賀県

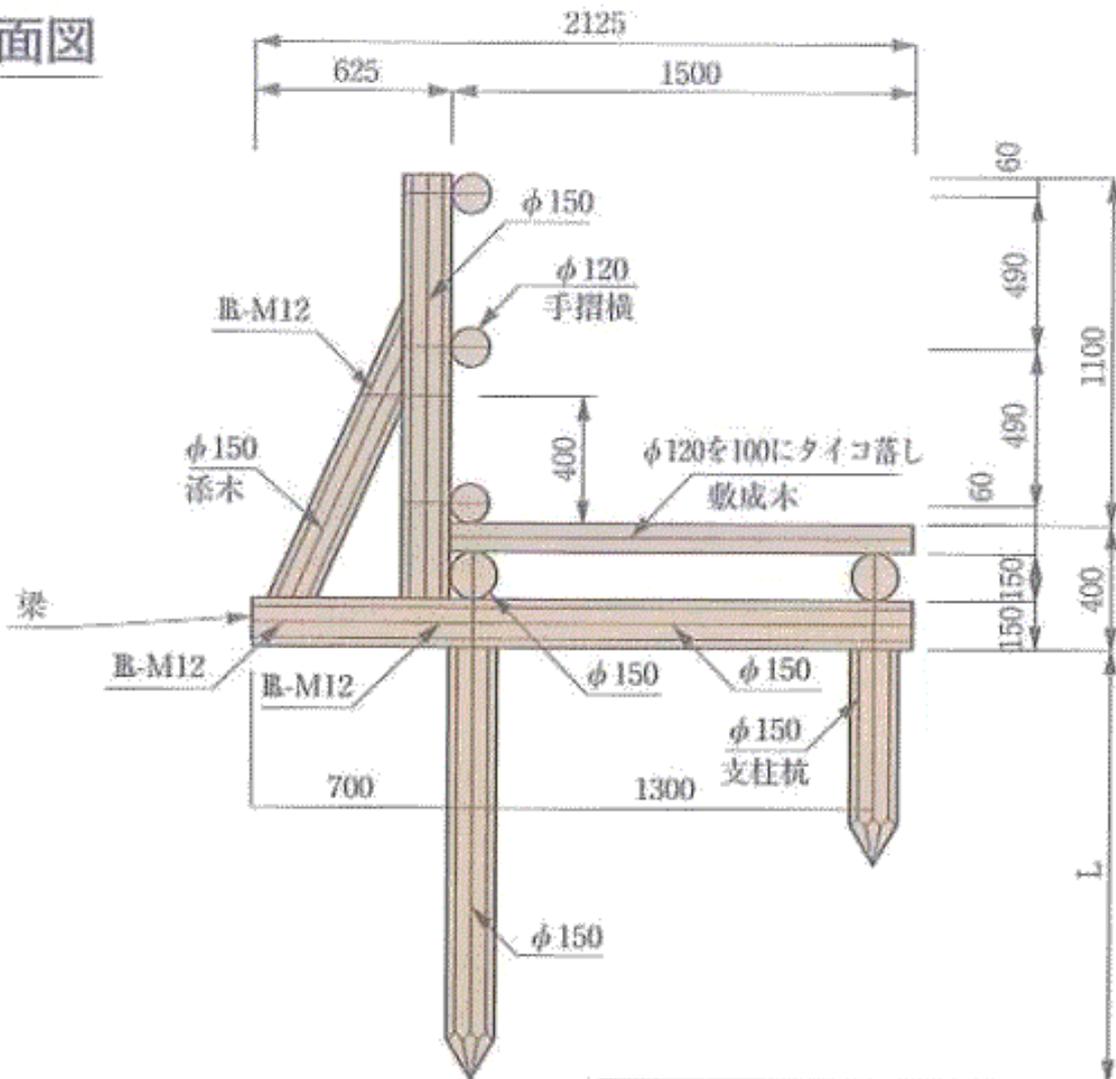
標準図

(単位：mm)

立面図



断面図



材料・歩掛表

W=1.5m

(10m当たり)

名 称	形状・寸法	単位	数量	摘 要
支 柱 杭	φ 150×1,700	本	6	
支 柱 杭	φ 150×850	〃	6	
梁	φ 150×2,200	〃	12	
桁	φ 150×2,000	〃	10	
柱	φ 150×1,500	〃	6	
中 柱	φ 90×1,500	〃	5	
添 木	φ 150×1,200	〃	6	
敷 成 木	φ 120×1,500 (100 タイコ落とし)	〃	83	
手 摺 横	φ 120×2,200	〃	15	
ボ ル ト 類		式	1	
乾 燥 ・ 防 腐 等		〃	1	
大 工		〃	1	
組 立 ・ 据 付		〃	1	

18-5 間伐材強化桁工

特徴

剥皮以外は特別加工の必要がなく、丸太のまま桁材として使用できる。
桁材重量が軽いので、小型トラッククレーンで架設できる。
桁の数の調整で、林道橋から歩道橋まで幅広く応用できる。

施工場所

橋長について、林道橋は8 m、歩道橋は10mまでとなっている。

施工方法

橋台施工後、ワイヤーロープと間伐材4本を組合わせたものを1基の桁材（林道橋は4基、歩道橋は2基）として架設し、太鼓落とした横材及び縦材で組み立てる。



L=8.0m W=4.0m スギ間伐材使用 9.83 m³



施工状況

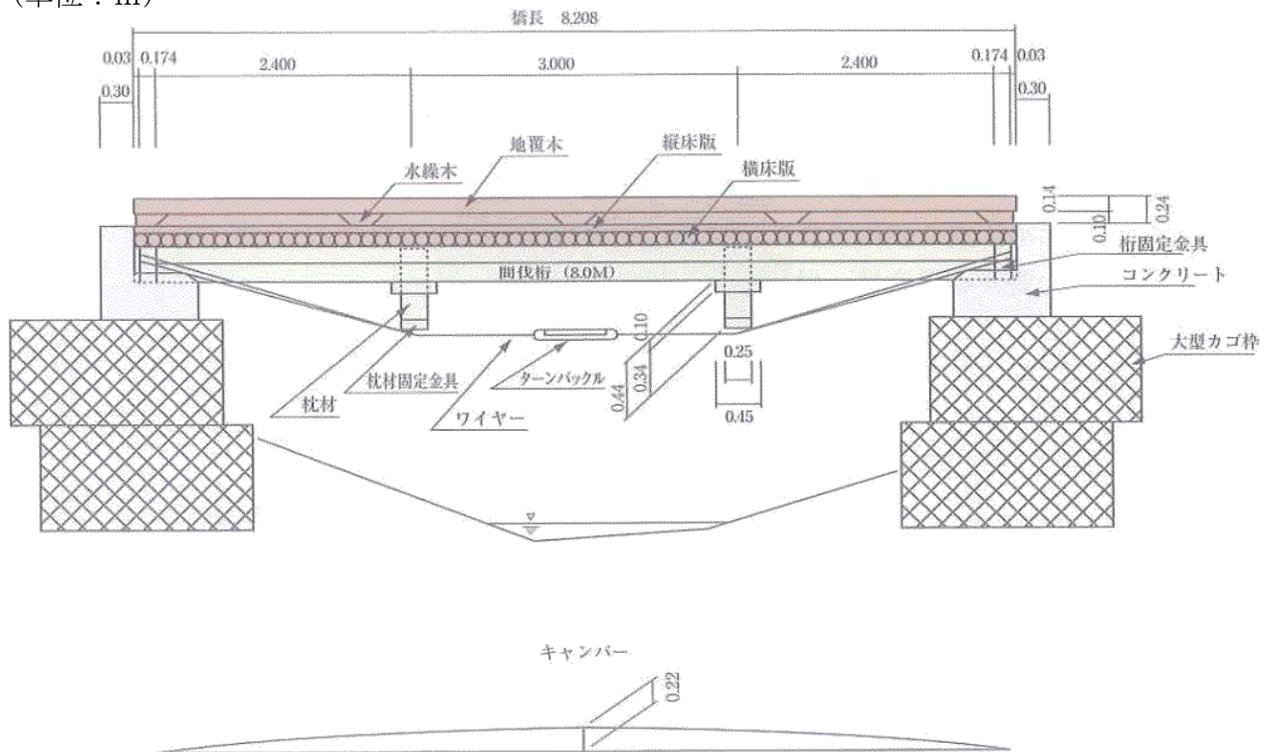
施工地：秋田県湯沢市

事業名：林道改良工事

施工主体：秋田森林管理署湯沢支署

標準図

(単位：m)



材料・歩掛表

資材（桁長 8 m用・1 橋分）

品名	品質・規格	数量	単位	摘要
主桁（4基分）	スギ末口 11cm×8.0m	16	本	
横床版	スギ末口 16cm×4.3m	46	〃	14cmの太鼓落とし
縦床版	t = 5 cm、8.2m×4.3m	35.3	m ³	
水線り木	上幅 0.4m、下幅 0.2m、幅 0.1m、高 0.1m	8	個	
地覆木	スギ末口 11cm×8.2m	2	本	
枕材	0.25m×0.25m×0.8m	8	個	
枕材板	0.45m×0.45m、高さ(0.1m、0.13m)	8	枚	
計				
桁材固定金具（枕材金具含む）		4	組	
ワイヤーロープ	φ20×6×24 G種メッキ	4	〃	
ターンパックル（USA型）	1・1/2×24 メッキ	4	個	
平鋼	t = 6mm×10cm×5.5m 25.9kg/枚	5	枚	
全ネジボルト	φ9×100cm ユニクロメッキ	6	組	
スクリュウボルト	φ9×12.5cm ユニクロメッキ	490	本	
垂鉛引鉄線	#12 メッキ	18.7	kg	
スチールバンド	t = 0.9×19cm	19	m	
地覆木締付ボルト	φ12×50cm	10	組	
計				

資材（桁長 8 m上部工）

名称	品質・規格	数量	単位	摘要
桁作成	普通作業員	4.0	人	
枕材加工	〃	2.7	〃	
架設	トラッククレーン油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊り	1.3	日	
架設	普通作業員	2.0	人	
横床版敷設		5.3	〃	
縦床版敷設		4.0	〃	
高欄取付		0.7	〃	
計				
	トラッククレーン	1.3	日	
	普通作業員	18.7	人	